

イスタンブールの歴史

イスタンブール周辺で最初に人々が暮らしていた痕跡は、アジア側で見られた。その遺跡を紐解けば新石器時代にまでさかのぼり、トプカプ宮殿近くの最初の定住地は青銅器時代にさかのぼれる。メガロン王国（ミケーネ人が作った王国）の支配から脱出したドーリア人（古代ギリシアを構成した集団のひとつ。紀元前 1100 年頃ギリシャに侵入、主にペロポネソス半島に定住。ギリシア語のドリス方言を話し、代表的な都市はスパルタ。）は、紀元前 680 年にアジア側にカルケドン（アナトリア半島北西部に位置した古代都市、現在のトルコ共和国イスタンブール市カドゥキョイ地区）を築いた。この 20 年後、メガロンからの入植者たちは彼らの指揮官ビザスの支配下のもと、サライバーヌ（イスタンブールにある金角湾とマルマラ海を分ける岬地区）という最初の居住地をアジア側の対岸にある歴史的なヨーロッパ側の半島に設作り上げた。その立地と貿易に便利な自然の港により都市は短期間で拡大し繁栄した。紀元前 513 年に、この都市はペルシャ人に占領され、紀元前 407 年にはアテネの支配下に入った。ヨーロッパ起源のギリシア人は、紀元前 227 年に街のアジア側に定住した。都市の防衛と安全のためにギリシア人は紀元前 146 年にローマ人と軍事同盟を結んだ。196 年に、ローマ皇帝セプティミウス・セウエルス（在位：193 年 4 月 9 日 ~ 211 年 2 月 4 日）はローマ帝国の領土内にその都市を編入した。コンスタンティヌス大帝（在位：306 年-337 年）は居住地を拡張し、西暦 330 年 5 月 11 日にこの町を「コンスタンティノープル」と改名し、ローマの第 2 の首都であることを式典で宣言した。